



てき丸君News 第19号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会
 〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号
 TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820
<http://www.zensanpairen.or.jp>

災害廃棄物処理支援ネットワーク(D. Waste-Net)が発足



写真上：D.Waste.Netに参画したメンバー
 写真下：望月環境大臣（当時）から任命証書を受け取る石井連合会会長



証書が授与されました。

発足式の終了後には、ネットワークの発足を記念するシンポジウム「多様な主体の有機的な連携に向けて」が開かれました。

シンポジウムでは、まず最初に基調講演が行われました。

基調講演は、「今後取り組むべき災害廃棄物対策の方向性」と題して大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会の酒井伸一委員長（京都大学環境科学センター長）が、続いて「国における災害廃棄物対策について」と題して環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課の和田篤也課長がそれぞれ講演されました。

また、基調講演後には、「東日本大震災における災害廃棄物処理を通じて得られた教訓と活用」（吉岡敏明氏、東北大学大学院環境科学研究科研究科長）、「東日本大震災・日建連会員企業による災害廃棄物処理業務概要」（岩佐健吾氏、一般社団法人日本建設業連合会復旧・復興対策特別委員会災害廃棄物部会幹事長）、「災害廃棄物研究の展望と国立環境研究所の役割、体制について」（平山修久氏、国立研究開発法人国立環境研究所主任研究員）の講演が行われました。（総務部・古川）

今後の災害廃棄物対応における関係団体等の連携強化を図るため、環境省は「災害廃棄物処理支援ネットワーク（D. Waste - Net）」の発足式と記念シンポジウムを9月16日に東京都千代田区の丸ビルホールで開催しました。

災害廃棄物対策については、東日本大震災での経験と教訓を踏まえ、廃棄物処理法及び災害対策基本法の改正が行われ8月に施行されました。

今回発足されたネットワークは、災害廃棄物対策に係る知見と技術を有効に活用し、国、地方公共団体、事業者の連携により災害対応力の向上につなげることを目的としています。

発足式では、ネットワークに参画する当連合会を含めた18名・団体の支援者・民間事業者団体の代表者に対し、望月環境大臣（当時）から任命

災害廃棄物処理支援ネットワーク (D. Waste-Net) 任命証書受領者順		
平成27年9月16日		
18名・団体（支援者グループ、民間事業者団体グループ）（五十音順）		
順番	個人・団体名	受領者
支援者グループ（個人）【別紙】		
1.	酒井 伸一 ¹ （京都大学環境安全保健機構附属環境化学センター センター長（教授））	酒井 伸一 ¹
支援者グループ（団体）		
2.	国立研究開発法人 国立環境研究所	理事長 住 明正
3.	公益社団法人 全国都市清掃会議	専務理事 佐々木 五郎
4.	公益社団法人 地盤工学会	副会長 風間 基樹
5.	一般財団法人 日本環境衛生センター	理事長 南川 秀樹
6.	一般社団法人 日本廃棄物コンサルタント協会	会長 西川 光壽
7.	一般社団法人 廃棄物資源循環学会	会長 松藤 敏彦
8.	公益財団法人 廃棄物・3R研究財団	専務理事 若田 元一
民間事業者団体グループ		
(1) 廃棄物処理事業団体		
9.	一般社団法人 環境衛生施設維持管理業協会	会長 市原 昭
10.	公益社団法人 全国産業廃棄物連合会	会長 石井 邦夫
11.	一般社団法人 日本環境衛生施設工業会	会長 古川 実
(2) 建設関連事業団体		
12.	公益社団法人 全国解体工事業団体連合会	会長 高山 真幸
13.	一般社団法人 日本建設業連合会	専務理事 生島 孝志
(3) 個別処理工程関連業界団体		
14.	一般社団法人 セメント協会	専務理事 木村 耕太郎
15.	一般社団法人 泥土リサイクル協会	理事長 木村 玄
(4) 輸送関連事業団体等		
16.	日本貨物鉄道株式会社	代表取締役社長 田村 裕二
17.	日本内航海運組合総連合会	会長 小比加 恒久
18.	リサイクルポート推進協議会	会長 米田 福（茶臼川市長）

連合会からのお知らせ

●産廃処理業景況動向調査結果について（2015.4-6月期）●

2015年4-6月期の景況判断DIは▲27となり、前回調査（▲21）より6ポイント減と悪化しています。「従業員の不足」、「人件費の増加」と上昇傾向にあり、人手不足にともなう人件費の上昇が前期と比較してより強く企業経営の圧迫要因となっています。

http://www.zensanpairen.or.jp/federation/02/06/keikyou1504_06.pdf

（調査部・戒能）

●平成27年度第3四半期のセーフティネット保証5号の指定業種について ●

産業廃棄物処理業の4業種（産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業）のうち、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業の2業種が平成27年10月1日から12月31日までの対象業種に指定されました。（調査部・戒能）

青年部協議会より

8月16日から19日までモルディブ・マレ市にて開催されました3R推進フォーラムに参加して参りました。

アジア太平洋地域における3Rの動向と展開の進化についての全体セッションに始まり、各分野に分かれてのテーブルセッション等、活発な意見交換がなされたフォーラムでした。

日本からは小里環境副大臣（当時）が開会式で挨拶を述べられ、30名程度が参加されました。

フォーラム開催中にモルディブでの最終処分場の視察が予定されていましたが、悪天候により中止になったことは残念でした。

今後もこのような機会があれば積極的に参加し、情報収集に努めて参ります。（青年部協議会・加山さん）



関連団体ニュース

●日本照明工業会が水銀使用ランプの分熱・回収のための情報提供を開始●

一般社団法人日本照明工業会は、水銀に関する水俣条約を踏まえ、既存の使用済み水銀使用ランプの回収スキームにおける水銀回収のための普及啓発活動の一環として、使用済み水銀使用ランプの分別・回収に係る情報提供を開始（下記URL）しました。

<http://www.jlma.or.jp/anzen/suigin/index.htm>

官公庁関係ニュース

●第3回大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会を開催●

環境省は、第3回大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会を9月11日に東京都千代田区のTKP東京駅大手町カンファレンスセンターで開催しました。当日は、①大規模災害発生時における災害廃棄物対策行動指針（素案）、②D.Waste-Netの発足、③廃棄物処理法の基本方針に盛り込む事項（骨子）の各議題が検討されました。（総務部・古川）

●第5回支障除去等に対する支援に関する検討会を開催●

環境省は、第5回支障除去等に対する支援に関する検討会を開催し、平成28年度以降の支援スキームとして、マニフェスト頒布団体等への要請を行うこと等とする報告書の検討を終え、検討会としての活動を終了しました。報告書は、同検討会において委員から出された追加的な意見を反映した上で、最終的な取りまとめは新美座長（明治大学法学部専任教授）に一任することとされました。（総務部・古川）

平成27年度 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナーのお知らせ

当連合会では平成27年度「産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー」を下記の要領で開催致します。

受講希望の方は、当連合会HPからインターネット申込みを頂くか、あるいは参加申込用紙を入手の上、申込手続きをしてくださるようお願い致します。

<日程>

◎営業コース			
開催地	開催日	会場名	定員(人)
東京	平成27年10月22日～23日	連合会会議室	各会場 30
東京	平成27年11月12日～13日	連合会会議室	
大阪	平成27年11月18日～19日	大阪商工会議所	
名古屋	平成27年12月2日～3日	ウィンクあいち	
◎現業管理コース			
開催地	開催日	会場名	定員(人)
大阪	平成27年10月29日～30日	大阪商工会議所	各会場 30
東京	平成27年11月26日～27日	連合会会議室	

※いづれも初日9:45～2日目16:00までの予定です。

<カリキュラム>

	営業コース	現業管理コース
講義	<ul style="list-style-type: none"> 業界をとりまく最新動向（仮題） 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 営業社員の基本的役割 マーケティングの基本 プレゼンテーションの基本 	<ul style="list-style-type: none"> 業界をとりまく最新動向（仮題） 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 操業管理、設備保全、原価管理 プレゼンテーションについて 安全衛生管理概論
グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 顧客情報管理シートの作成 ケーススタディ、グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 安全風土づくりの研究 ケーススタディ、グループワーク

<受講申込・問合せ先>

受講を希望される方は、（公社）全国産業廃棄物連合会のHP（<http://www.zensanpairen.or.jp>）からのインターネット申込み、又はお問合せ先にご連絡下さい。

<問合せ先>

（公社）全国産業廃棄物連合会事業部 Tel03-3224-0811 FAX03-3224-0820

※すべての科目を受講し、研修会を修了された方には、修了証を交付いたします。
 ※本セミナーは、各都道府県等の人材育成支援制度や継続学習制度（CPDS。ただし現業管理コースのみ）に活用できます。

平成27年度産業廃棄物処理実務者研修会のお知らせ

平成27年度におきましても、産業廃棄物処理実務者研修会を開催します。日程が決まりましたので、お知らせします。受講されたい方は、全産廃連HPから受講申込をされるか、あるいは受講申込書を手の上、申込手続をしてください。

<日程>

	開催地	開催期日	会場名	定員(人)
1	熊本県	平成27年10月27日(火)	メルパルク熊本	120
2	群馬県	平成27年11月10日(火)	群馬建設会館	150
3	沖縄県	平成27年11月19日(木)	カルチャーリゾートフェストーン	150
4	東京都	平成28年 2月12日(金)	ベルサール西新宿	150
5	岐阜県	平成28年 2月24日(水)	ふれあい福寿会館	120

<カリキュラム>

10:00 12:00 12:50 14:30 16:00 16:30

産業廃棄物処理の基礎	昼休み	産業廃棄物の委託 処理と委託契約	産業廃棄物管 理票・帳簿	質疑応答・ 修了証の交付
------------	-----	---------------------	-----------------	-----------------

<受講申込・問合せ先>

受講を希望される方は、(公社)全国産業廃棄物連合会のHP (<http://www.zensanpairen.or.jp>)からのインターネット申込み、又はお問合せ先にご連絡下さい。

<問合せ先>

(公社)全国産業廃棄物連合会事業部 Tel03-3224-0811 FAX03-3224-0820

※本研修会は、継続学習制度(CPDS)の講習会((一社)全国土木施工管理技士連合会)に認定されております。



●INDUST 10月号特集「建機の見どころ」●

建設機械の高度化が進んでいます。ICTによる省力化はもちろんのこと、振動・騒音などの環境負荷を低減し、低炭素化を実現する機能的な新機種が続々と投入されています。産業廃棄物処理に従事する経営者にとっては、自社業務の高度化にも直結するこれら新機種の導入をいかに図るかが大きな課題です。そこで、今号では建機調達の今日を特集します。（事業部・東方）

- 主な行事予定 - (10月22日~11月27日)

【10月】

22~23日 能力アップセミナー現業コース（愛知）
27日 産業廃棄物処理実務者研修会（熊本）
29日 第2回処分場早期安定化分科会（仙台）
29~30日 能力アップセミナー現業コース（大阪）

【11月】

6日 産業廃棄物と環境を考える全国大会（佐賀）
10日 産業廃棄物処理実務者研修会（群馬）
12~13日 能力アップセミナー営業コース（東京）
18~19日 能力アップセミナー営業コース（大阪）
19日 産業廃棄物処理実務者研修会（沖縄）
24日 第3回法制度対策委員会
26~27日 能力アップセミナー営業コース（東京）

